

大学 ICT 推進協議会 2012 年度年次大会 出展報告

伊達 進、大塚ルリ子、竹村治雄

情報メディア教育研究部門

大学 ICT 推進協議会(AXIES: Academic eXchange for information Environment and Strategy) は、高等教育・学術研究機関における情報通信技術を利用した教育・研究・経営の高度化を図り、我が国の教育・学術研究・文化ならびに産業に寄与することを目的とし、2011 年度に設立された協議会である。本協議会には、国内 61 の国公立大学が会員とし、また、35 の企業が賛助会員として参画している。

本協議会では、会員相互の情報交換の場として、毎年年次大会を年に一度開催することとしており、2012 年度は 12 月 17 日(水)～12 月 19 日(金)を会期とし、神戸国際会議場にて開催された。通常、年次大会は、企画セッション、一般セッション、企業セミナー、展示のカテゴリから構成される。大阪大学サイバーメディアセンターは、2012 年度の年次大会に対しては、企業セミナーを除くすべてのカテゴリで活動実績を残しており、企画セッション 1 件、一般セッション 3 件、展示ブースの出展で貢献している。

本報告書では、そのうち、2012 年度に初めて大阪大学サイバーメディアセンターとして展示ブースを出展したので、展示ブースでの取り組みについて報告する。

1. はじめに

2012 年度の出展では、大阪大学サイバーメディアセンターより教員 7 名、所属部門への配属学生 1 名、および情報推進部より教員 1 名、事務職員 4 名の総勢 12 名の体制で 3 日間の展示活動に取り組んだ。特に、2012 年度は、当該年度に最終年度を迎える、本センターが中心となり推進した大学教育の国際化に対応した FD 支援事業(GFD; <http://gfd.ime.cmc.osaka-u.ac.jp/>) に従事する、本センター情報メディア教育研究部門の教員らが中心となり、展示活動を統括した。

2. 展示内容



図 1: 大学 ICT 推進協議会 年次大会 2012 で本センターの取り組みを報告・紹介する教員ら

展示活動としては、主として下記のタイトルでのポスタを掲載し、ポスタをベースとした広報資料を配布することで、本センターおよび情報推進部を中心として展開中の教育研究環境の高度化・発展に資する活動を報告・紹介した。

- (1) 教員を対象とした e ラーニング教材「Let's teach in English」
 - (2) 大阪大学キャンパスクラウド
 - (3) 大阪大学 CMC グリーン IT プロジェクト – 大学施設における消費電力削減にむけて –
 - (4) うめきた展開による産学連携推進
- 以下、これらの内容について概説する。

(1) 教員を対象とした e ラーニング教材「Let's teach in English」

サイバーメディアセンターは、全学教育推進機構（旧 大学教育実践センター）、国際教育交流センター（旧 留学生センター）の協力を得て、2008 年度より、大学教育のグローバル化に対応した FD 支援事業「教育のグローバル化、教員の英語力強化のための FD」を推進してきた。2012 年度は当該事業の最終年度にあたることもあり、最終成果物の一つである、本学教員が自信を持って英語で講義できるように支援することを目的として開発された、教員向け自学自習用 e-learning 教材「Let's teach in English」について、本ポスターで紹介した。本項目の展示では、ポスターだけでなく、ノート PC を持ち込み開発した e-learning 教材のデモを行ったこともあり、開発教材の有効性／有用性についてブース訪問者らと議論を活発に行うことができた。

(2) 大阪大学キャンパスクラウド

本項目では、大阪大学情報推進部が全学に提供するクラウドサービスについて紹介した。本展示では、メールサービスやウェブの集約による、省スペース化、省電力化、セキュリティ対策の優位性を目的としたクラウドサービスのシステム概要、実施体制などについて紹介した。学外のブース訪問者から詳細について教えてほしいという質問も数多く寄せられるとともに、他大学のクラウド

サービスの状況などとの相違について議論できる展示となった。

(3) 大阪大学 CMC グリーン IT プロジェクト

– 大学施設における消費電力削減にむけて –

本項目では、IT を活用して電力消費を可視化することにより、空調、照明、コンピュータ等を利用する学生と教職員に対して、電力消費に対する意識を向上させ、大阪大学の効果的なエネルギーマネジメントの実現に寄与することを目的とした実証実験について報告した。

(4) うめきた展開による産学連携推進

本センターでは、本センターの所有するスーパーコンピュータやクラスタなどの利用促進、ならびにクラウド、大規模可視化の研究開発を通じた産学連携を推進することを目的として、2013年4月よりうめきた「ナレッジオフィス」に進出予定であるが、本項目では本センターがナレッジオフィスで計画する活動内容について紹介した。

3. おわりに

冒頭で述べたように、大学 ICT 推進協議会の年次大会に、大阪大学サイバーメディアセンターとして初めて展示を行った。本センターでは、2000 年度より毎年 11 月に米国で開催される国際会議・展示会 SC において研究ブースを出展している経験があるため、本展示においても大きな問題なく遂行することができた。しかし、本センターでの高等教育・学術研究機関における情報通信技術を利用した教育・研究・経営の高度化、国際化を担う体制を十分に報告・紹介できたとは言いがたい。次年度以降も、大学 ICT 推進協議会で積極的に成果報告、情報交換を行い、我が国の教育・学術研究・文化ならびに産業に寄与していきたいと考えている。